

日時:令和2年12月24日(木)15:00~16:10

場所:琵琶湖ホテル 大会議室(瑠璃)

議事概要

1. 淀川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ(案)】策定までの経過について

国土交通省防災・減災対策本部での議論内容や、社会資本整備審議会からの「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について」の答申資料により、「あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換」を共有すると共に、これまでの淀川流域治水協議会での議論も共有し、「淀川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ(案)】」を確認した。

2. 新たな関係機関の参加について

あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」をさらに加速する必要があることを共有し、今回から参画するオブザーバーを確認した。

集水域での貯留効果が期待できる農林分野から、近畿農政局、近畿中国森林管理局、滋賀県農政水産部が参画。

流域の環境変化や気候変動等への対応として、近畿地方環境事務所・彦根地方気象台が参画。

ソフト対策も充実することから、滋賀県防災危機管理局が参画。

日常利用する道路等における貯留対策の観点から滋賀国道事務所が参画。

3. 淀川水系流域治水プロジェクト【琵琶湖(滋賀県域)分会 とりまとめ(素案)】について

琵琶湖(滋賀県域)分会の全対策が俯瞰できるプロジェクト図、及び圏域毎の詳細プロジェクト図を基本にとりまとめることを共有・確認した。

河川における対策、流域における対策、ソフト対策の代表的な事例を、滋賀県土木交通部、琵琶湖環境部、近江八幡市、湖南市、東近江市から紹介し、共有・確認した。

また、オブザーバーから関連する事業の紹介や、実施内容を報告し、共有・確認した。

4. 今後の進め方について

協議会では年度末を目標にプロジェクトをとりまとめることを提案しており、それを目指した分会等の開催時期、作業方針を共有・確認した。

以上